



2007年1月23日  
ユニゾン・キャピタル株式会社

共同投資ファンド(UC スタンド・バイ・ファシリティ)設定に関するお知らせ

当社がアドバイザーを務める、日本におけるバイアウト投資を主眼としたファンドである、ユニゾン・キャピタル・パートナーズ II 及びユニゾン・キャピタル・パートナーズ II(F)(以下あわせて「UCPII」)は、本日、新たに600億円規模(予定)の追加共同投資ファンド(名称:UC スタンド・バイ・ファシリティ)を設定しましたので、お知らせ致します。

UC スタンド・バイ・ファシリティは、総コミットメント額750億円のUCPIIが投資する案件に共同で投資を行うことを目的としています。この追加共同投資ファンドの設定により、UCPIIは企業価値が1000億円を超える大型投資案件を独自の投資対象として取り組むことが可能となります。

昨今日本のバイアウト市場において、大企業の事業再編や、公開企業の非公開化等を契機として、案件の大型化が顕著に進んでいます。UCPIIの検討する投資案件においても、企業価値が1000億円を超える大規模の案件が増えてきており、そのような投資機会への対応が急務となっていました。

UCPIIの投資フォーカスは、これまで通り、日本におけるMBO、大企業の分社化、事業承継など、企業の成長を支援するバイアウト投資です。ターゲットの市場において提供される様々な投資機会に、これまで以上に迅速且つ柔軟に対応し、より積極的に投資機会を捉えていくことを目指しています。

以上